



## 遊びの学校で たくさんの思い出ができました

8月24日(木)、特定非営利活動法人NPOわんぱーくが実施する「遊びの学校」の閉校式がおこなわれました。

これは、大崎小学校などを使用し夏休み期間中、さまざまな体験活動をとおして児童の健全育成を図ることを目的に実施しています。

7月24日に開講し、英語リスニングなどの学習活動や自然体験、プール遊びなど幅広い体験活動がおこなわれ、今年は70名が参加しました。

大崎小学校6年生の小屋セイラさんは「今年で最後の参加だったので下学年のお手本になるように頑張った。上手く行ってよかった」と話してくれました。



### かごしま黒豚を 学校給食に提供

ナンチクグループ(株式会社ナンチク・志布志畜産株式会社)が、9月6日「黒の日」にあわせて、大崎町、志布志市、曾於市の小中学校にかごしま黒豚肉を学校給食の食材として提供しました。

これは、未来を担う子どもたちに、地域の特産品であるかごしま黒豚肉を食べてもらうことで、食に関する知識や理解を深めてもらおうと、地域貢献活動の一環としておこなわれています。

いただいたお肉は、「黒豚の甘辛炒め」にして9月5日(火)に町内の小中学校の給食で提供されました。大丸小学校5年生の鷲東結月<sup>ゆづき</sup>さんは「タレが染み込んで美味しい」と笑顔でした。



### ごみ拾いを通して ごみ問題について学ぶ

9月18日(月・祝日)、B&G大崎わんぱーく海洋クラブが、「海ゴミゼロフェスティバル」を開催しました。これは、9月16日から24日までの期間、B & G財団が全国的に進めている「海ゴミゼロウィーク」にあわせて実施したもので、野方野球チーム「グッディーズ」や遊びの学校に参加した児童など26名が参加し、約1時間で軽トラック2台分のごみを回収しました。

昨年は、持留川においてシーカヤックを活用した水面からの水辺のごみ拾いを実施するなど、同クラブは「楽しく無理なくできるごみ拾い」を企画しています。

